

第18回熊野川の総合的な治水対策協議会 猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

国土交通省 近畿地方整備局
紀の川ダム統合管理事務所
令和元年11月28日

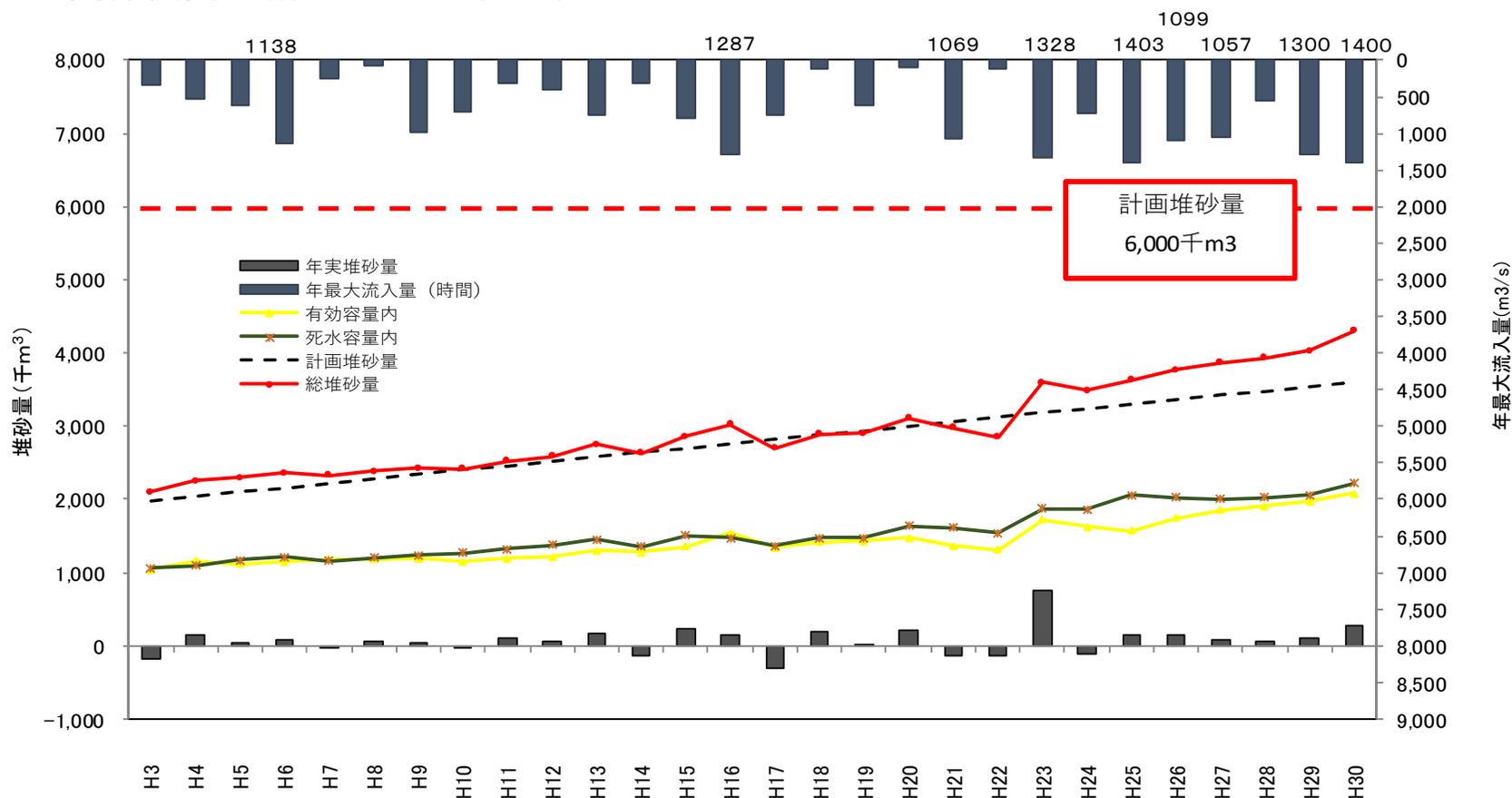
猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

●平成30年度末時点の堆砂状況

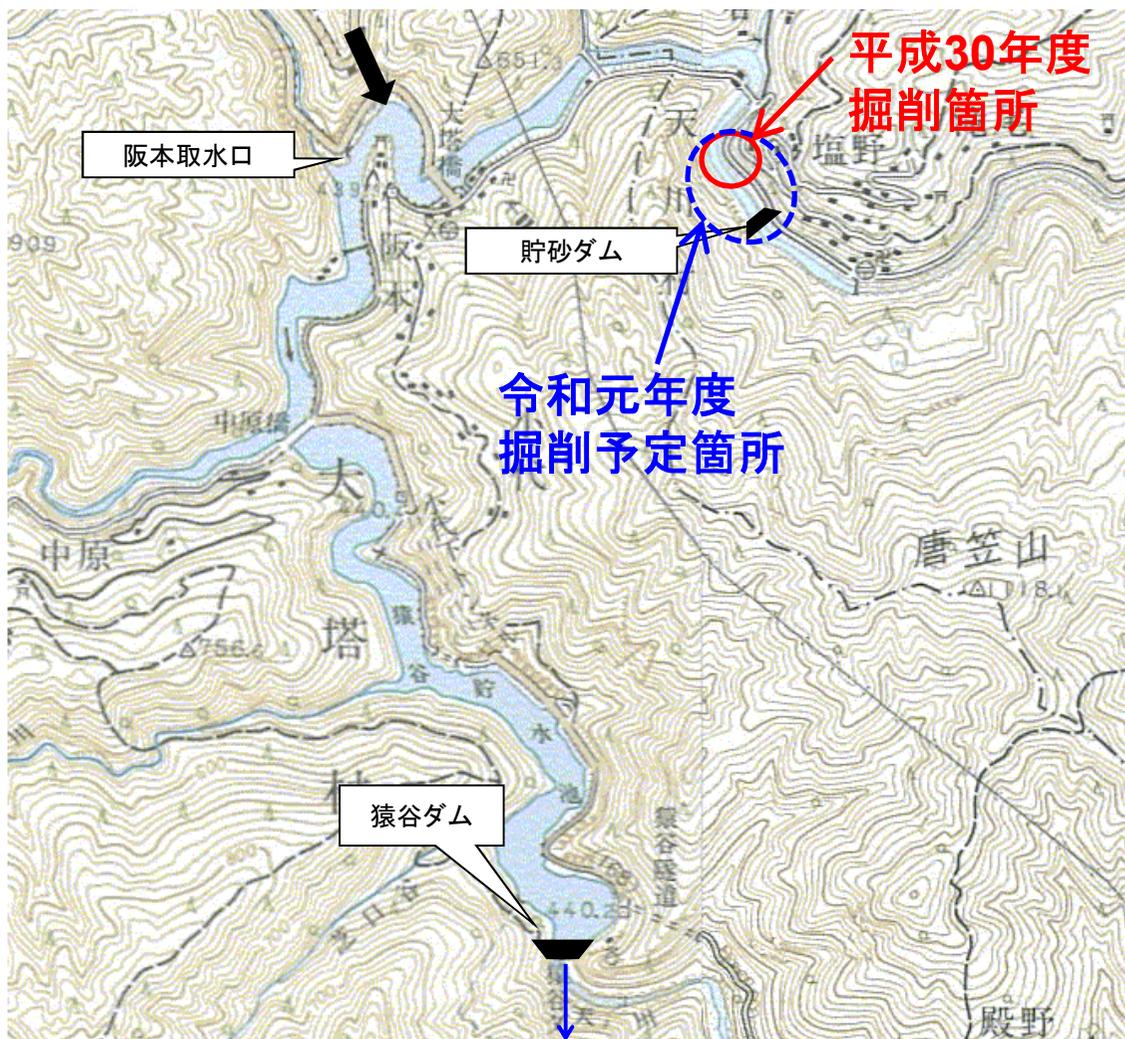
昭和33年から管理を開始。現在、総堆砂量は4,305千m³、平成30年度末時点の堆砂率は71.8%となっている。(堆砂測量は、音響測深機による深浅測量を毎年実施) 現在のところ、概ね計画どおりの堆砂率と見ているが、平成23年度以降は、計画堆砂率を多少上回っている状況である。

●堆積土砂対策

平成30年度は貯砂ダム上流付近で約600m³の堆積土砂掘削を実施。令和元年度も引き続き貯砂ダム付近で約2,000m³の堆積土砂掘削を実施する予定。なお、施工時の濁水発生については十分配慮し、関係機関と協議の上取り組む。



【参考】掘削箇所付近の状況



- ・平成30年度に貯砂ダム下流付近にて約600m³堆積土砂を掘削。
- ・今年度も引き続き貯砂ダム付近で約2,000m³の堆積土砂掘削を実施予定。【和歌山河川国道事務所の工事(五條市)に搬出予定。】

掘削前状況



撮影日:平成31年2月18日

掘削完了状況



撮影日:平成31年3月6日